

第1次計画から見えてきたこと
(第1次計画の検証を踏まえ)

基本目標1 人をはぐくむ

【生涯学習に取り組めるためのきっかけづくり】

- ◎評価 ・各種講座の募集チラシ、公民館まつりの開催チラシの市広報誌への折り込み
 ・生涯学習情報誌「いきいき」や「サークル情報誌」の作成
 ・公民館講座や市民講座による各種講座を始め、女性や親子・高齢者を対象とした講座、青少年育成委員やスポーツ推進委員などと協力しニュースポーツの普及や休日における子どもの体験事業なども開催
 ・施設整備では年次計画による長寿命化対策、一部施設において指定管理者制度を導入し市民サービスの向上
- ◎課題 講座等について、夜間や休日、また託児所付きの講座などをより充実し誰もが参加しやすい講座環境を整えていく。
 また、社会教育の施設整備では年次計画による長寿命化対策を進め、一部施設において指定管理者制度を引き続き導入していく。

基本目標2 ところを結ぶ

【地域の人と人がつながる地域交流活動の支援】

- ◎評価 ・子どもたちが安心・安全な放課後を過ごせる居場所づくりとして市内7小学校区において「放課後子ども教室」を開催
 ・学校からの支援・協力依頼を受けて学校の支援活動を行う「地域で支える学校教育推進事業」、青少年育成委員会による小学生ソフトボール大会や少年の主張大会、スポーツ推進委員会による小学生ドッジボール大会や陸上教室などを開催
 ・各種団体への補助金の交付により活動の活性化を促すとともに、イベントの開催や国際交流協会による中学生海外派遣事業や日本語教室の開催など国際交流事業の推進を行い、平成29年3月には米国サンタモニカ市との友好都市盟約を締結
- ◎課題 市民の多様化するニーズに応えるべく、関西文化学術研究都市にある研究所や京都府・関係機関などと更なる連携を行う。

基本目標3 まちを創る

【充実した人生を送ることができる生涯学習社会の実現】

- ◎評価 ・市民が地域において参加できるイベント・ボランティア活動の場となる「かも野外音楽フェスタ」の開催、公民館まつりや市民文化祭・講座発表会など各種活動発表会を開催することにより学んだ成果を発表できる場の提供
 ・市民運動会や歴史めぐりマラソン、市民スポーツ大会・教室など各種スポーツイベントを開催することによりスポーツに親しみ、市民が交流できる機会の提供
- ◎課題 講師やボランティア情報の共有について十分でないことから、人材の有効活用方法について研究を行うとともに市内在住・在勤者や出身者の有能な人材を発掘し積極的に活用していく。



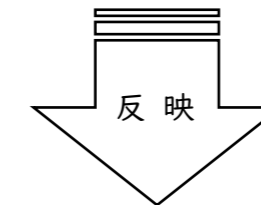
第2次計画策定のポイント

基本理念

人をはぐくみ ところを結び まちを創る

基本目標

1. 人をはぐくむ 生涯学習を支える基盤整備
2. ところを結ぶ 市民との連携・協働
3. まちを創る 生涯学習推進都市を目指して



計画構成の方向性

- 第1章 計画の概要
- 第2章 基本構想
- 第3章 基本計画

※第3章の中で基本理念に沿った具体の重点施策を内容に落とし込んでいく

2次計画での新たな項目の反映

【キーワード】

ICT(オンライン学習) SDGs 地域防災 食と環境
 文化財 図書館(子どもの頃からの読書習慣)
 国際交流 人権教育 LGBTQ 感染症 地域連携
 関西文化学術研究都市 コミュニティスクール・放課後子ども
 教室・地域学校協働活動

※本計画は社会教育課が主体となり市内各課と連携し策定を進めます。